



子どもの成長を支える「スクラムプラン」を推進し、「子育て支援条例」の制定も必要であると考えています。

教育環境の整備では、学校生活の快適性を向上させるため、老朽化した浜岡中学校の建て替えを早期に実施したいと思えます。

生涯学習の観点からは、来春から放送予定の大河ドラマ「おんな城主直虎」の主人公とゆかりがある新野左馬助の功績を広く知らせるなど、これを契機に、歴史と文化に誇りを持ち、郷土を愛する人材育成に努めます。



▶ Profile プロフィール

昭和21年12月5日生(69歳)

御前崎市佐倉在住

浜岡町議会議員(2期)、御前崎市議会議員(3期)を経て市長へ就任。平成16年には御前崎市議会議長を務めた。

座右の銘：誠実であれ

3つ目に「福祉・医療・介護の充実」は、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるよう

包括的な支援と、サービス提供体制の構築を目指す地域包括ケアシステムの体制を早期に整備していきたいと考えています。また、家庭医療センターの整備をはじめ、市民が健康で安心して暮らせる地域医療の充実を図ります。

4つ目は「災害に強いまちづくり」です。先に発生した熊本

地震では、多くの尊い命と貴重な財産が失われたことは記憶に新しいのではないのでしょうか。

このような災害発生時に即実行できる、または実効性が高い避難計画の策定や、津波避難困難地域に対する安全対策に努めていきたいと思えます。

5つ目に「産業振興発展と働く場所の確保」は、従来型の企業進出が決まってから工業敷地を造成するオーダーメイド式の企業誘致から、誘致に向け事前に造成しておくなどの先行投資型の積極的な企業誘致を実施していきます。

農業の分野では、担い手の育成や確保に向け、農家と働き手をつなぐ役目を果たす、農業版ハローワークを創設します。

漁業の分野では、豊かな海域に恵まれた特性を生かした、新たな栽培漁業に積極的に取り組んでいきます。

6つ目に「地域の活性化と交流人口の拡大」は、国際貿易港である御前崎港の有効活用、渚の交番や御前崎灯台などの観光スポットを線で結び、にぎわいの創出に努めます。観光交流人口の拡大には、地域の良さや魅

力を発信できる人材も必要であり、観光プロデューサーを置くなど観光宣伝にも力を注ぎます。

また、本市は太平洋や駿河湾といった海に囲まれ、マリンスポーツを楽しむ好条件が整っている、大変恵まれた地域です。そのような特性を生かし、さらなるスポーツ振興を進めていきます。

7つ目は「インフラ整備と長寿命化」です。今まで多くの社会資本の整備を実施してきましたが、老朽化に伴う公共施設の修繕や建て替えを必要とするものが多くなります。この資産を次世代につなぎ、安全で安心して利用することができるよう、最適な公共施設の整備を進めて

いきます。

対話を大切にする

まちづくり

合併から12年、石原市政によって融和が図られた御前崎市を引き継ぎ、本年度からは「子どもたちの夢と希望があふれるまち御前崎」を将来都市像に掲げ、向こう10年を見据えた「第2次御前崎市総合計画」と「御前崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートしました。

子どもからお年寄りまで、市民の誰もが笑顔で「住んで良かった」と言えるまちとなるよう、まずは市民の皆さまとの対話を大切に考え、市政を進めていきます。

柳澤市政「7つの政策」

1. 人口減少および少子化対策と子育て支援
2. 教育環境の充実と未来を創る人づくり
3. 福祉・医療・介護の充実
4. 災害に強いまちづくり
5. 産業振興発展と働く場所の確保
6. 地域の活性化と交流人口の拡大
7. インフラ整備と長寿命化